加納伊都後援会 TRAUBEN ニュースレター

STRUM



例年にない酷暑の夏となりました。皆様体調はいかがでしょうか? 実は6月中、管理人のパソコンも体調も不良!となり、また9月、12月コンサート日程も定まらず…そんなこんなで今回は、ごめんなさい!! 3週間遅れのStrum発行となりました。(伊都さんの近況報告の原稿にも、内容にタイムラグが生じ、原稿を送りなおしてもらうという事態に…ありがとうございます) さぁ、夏から秋、冬とコンサートが目白押し、暑さに負けず、伊都さん動きます!

近況報告



6月 中津川 Home Concert

4月 Motion Blue Yokohama









ウィーン、ロンドンと暮らしていて、日本から離れて大変なことがある?と聞かれると、日々の苦労はいろいろとあって数えきれないけれど、時々無性に、いてもたってもいられないほど海が見たくなることがあると答えていました。なくなってみて初めてその存在の大きさに気付くというよくあるパターンで、日々海を見て育ち、当然のように景色の一部だった、季節、天気、時間によって刻々と様々に変わる海と、そしてその上の雲と空の様子、何かの拍子に一度思い出してしまうと、その不在は好き嫌いのレベルでなく、まるで末期の禁断症状のように体がうずきだすので、ウィーン時代は湖へ、ロンドンでは一番近くの海辺の町へと、目に水の青さを感じに南下をしていました。特に夏になると真っ青な海の色と、真っ白な入道雲への要求はうちかちがたく、音楽家の夏のイベント、音楽祭参加は必ず一つ海の近くへと行くことを決めていて、初めてクロアチアの島の音楽祭を訪れた時の今まで見たことのない、透き通るような、コバルトブルーとエメラルドグリーンの美しい色合い(日本の海のように海藻がないため)は忘れられません。

日本の思わぬ快進撃で湧いたサッカーロシアワールドカップ、当時、爆撃の跡の残るザグレブの街角のブラウン管で唯一放映される試合中継に、皆が押し寄せ(確かクロアチの国営放送がまだなかった)交通がマヒをしていたクロアチアが準優勝、2010年オーストリアで行われた欧州選手権の決勝、ドイツ対スペイン戦の両者共にヨーロッパの覇者らしい戦いぶりと、国の総力をあげての応援は圧巻で、いまだ目に焼き付いている、その2国は早々に敗退。 先日10代の子に「よきコンサートでした」と感想をもらい、ずいぶん古い言葉使いをするのだなと思ったら、若者の流行言葉なのだそうで、時代は少しずつ確実に動いているのだと感じます。

留学したばかりのころ、部屋のコルクボードに貼っていた詩の一部(ほとんど海の詩を書いて貼っていたような気がします)「かなしくなったときは海を見にゆく こころ貧しい朝も海を見にゆく 人生はいつか終わるが 海だけは終わらないのだ」 この "海だけは終わらない"の一節が好きで、いまだに時々口ずさんでしまうのですが、終わらない海のように、ヴァイオリンの音は永遠に続いていくと信じ、「よき演奏」を目標に、夏、秋と途切れなく続くパフォーマンスを一つ一つ大切にしていきたいと思っています。 【伊都】

Motion Blue Yokohama

4月17日、国内外のトップアーティストが出演する横浜赤レンガ倉庫のライブハウス Motion Blue Yokohama で伊都さん2度目となるライブが行われました。

第1部は近藤紗織さんのピアノで、伊都さんの好きな「揚げひばり」、アイリッシュミュージック、「ラ・カンパネラ」とクラシック寄りの曲、第2部はジャズピアニスト中村新史さんと、驚きの「ルージュの伝言」で始まり、「いつか王子様が」と、お洒落なジャズテイストに変身した曲が。また、ヨーロッパで親交のあったジプシーの友人の話の後披露されたジプシー曲は、彼女が身近に経験してきた空気をパワフルに再現する、相も変わらず魂を揺さぶる迫力でした。

この日、最も鳥肌が立った曲は、アコーディオンに持ち替えた新史さんとの共演で「Minor Swing」という、ジプシー音楽とスウィングジャズを融合させたジプシージャズと呼ばれるジャンルの曲でした。ナチスドイツ支配下のフランスで活躍した天才ギタリストで自身もジプシーの、ジャンゴ・ラインハルトの作曲です。アメリカのジャズとは哀愁の種類が違うというか、不思議な魅力のあるメロディラインです。伊都さんと新史さんの、新しい化学反応を呼び覚ました曲でした。

その後は、何度でも聴きたい!チャールダッシュやリベルタンゴ、アンコールの最後は三人の共演で「Over the rainbow」。余韻の残るクールダウンとなりました。



Ito Kanoh 公開コンサート(パフォーマンス)予定

7月29日(日)19:30~	横浜エアジン (横浜馬車道)	Ito Solo Vol.4 夏のバッハ祭りのトリで弾きます	横浜エアジン http://airegin.yokohama/ Charge:¥2500(予約¥2300/U25¥1500) Contact:045(641)9191(エアジン)
8月5日(日) 19:00~ 8月25日(土) 15:00~	Kiten	Improvision (ギター、ドラム、ダンス、詩とのコラボ) パフォーマンスイベント「なづき」音楽担当	詳細は加納伊都宛てにお問い合わせください
8月26日(日) 15:00~ 9月5日(水) 19:30~)Voice Yoga とのコラボレーション	
9月16日(日)17:00~	横浜山手	TRAUBEN 10th concert	8月9日より後援会会員座席予約受付開始
	ユニオンチャーチ	Wiener Wind	8月初めにご案内をお送りします
11月3日 (土祝)	横浜山手	西洋館コンサート	元町・フランス菓子 料理教室「Eiko Morita」
19:00~(予定)	ベーリックホール		さんが、おもてなし料理を作って下さいます
12月20日(木)19:00~	みなとみらいホー	第 16 回加納伊都ヴァイオリン	piano 松尾久美
	ル小ホール	リサイタル	11 月初旬頃ご案内をお送りします

DVD Classic Collection

作品 No.33 「Chocolat (ショコラ)」

~大人のおとぎ話~

2000年アメリカ

あらすじ

感想

1959年、フランスの田舎の小さな村、村長のレノ伯爵は小さな教会を取り仕切り、伝統と厳しい宗教観を守っていた。そこに北風とともに謎めいた母と娘がやって来て、チョコレートの店を開く。母のヴィアンヌは人の好みに合ったチョコを選ぶ不思議な力で客を惹きつけるが、厳格な村長はそれは誘惑だと商売の邪魔をする。ある日、村の川にジプシーの一団が流れ着いた…。

Motion Blue で伊都さんと中村新史さんが演奏した「Minor Swing」、ジプシー役のジョニー・デッ見どころ プが船上のパーティのシーンで演奏する。ジョニー・デップはミュージシャンとしても凄い人らしい。「パイレーツオブカリビアン」でブレークする少し前の作品で、彼のイメージとは違う大人しく優しい役。このコラムでもお馴染み、アカデミー女優のジュディ・デンチが大家の役で物語に深みを出している。フランスの実在の村で撮影された雰囲気ある映像も魅力的。

伝統に縛られる村人達がチョコレートの魔法で自由になっていく。ストーリーや美しい映像はおとぎ話のようだが、ヴィアンヌや周囲の人々の感情や苦悩もちゃんと描かれていて、そこが「大人の…」の所以になっている。ヴィアンヌの50年代ファッションも素敵で、今でも真似をしたくなるようなお洒落感。キャスト、映像、曲、ちょっとミステリアスで美しい作品。

*DVD は TSUTAYA の店舗でレンタル可能な作品のみをご紹介しています

編集後記西日本豪雨災害とそれに続く猛暑で始まった今年の夏、40年ほど前、まだ学生だった頃、暑中見舞いのハガキに大きく「32」という数字を書いて送ったことを覚えています。当時、耐え難く暑いことを伝えたかったのですが、今や32度はまだ耐えられる数字となりました。長い人類の歴史の中で、たった数十年でこんなに暑く、雨は激しく降るようになり、果たして私たちの体や心は、やはり短期間でそれに適応していくのでしょうか。/夏を少しでも涼しく乗り切る知恵は数々あれど、ぜひ音楽もそれに加えていただきたい。特に!ヴァイオリンの澄んだ音色を照明を落とした暗めの部屋で聴くと、体感温度は2、3度下がるはず!と手前みそな暑さ凌ぎをお伝えしておきましょう。/伊都さんの今年の夏は熱そうですね。

発行:加納伊都後援会 T R A U B E N 〒231-0835 横浜市中区根岸加曽台 15 TEL: 0 4 5 - 6 2 2 - 6 7 8 0 FAX: 0 4 5 - 6 2 1 - 6 4 2 3

Email: trauben@itokanoh.com Homepage: itokanoh.com